

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2009.10.10
No.993

発行責任者 伊藤 慎次 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

「なくせ貧困、くらし改善」
全県労働者決起集会

10月30日(金)午後6:30~
名古屋・若宮広場
職場から要求持ちよう



地域問題を住民ひとりひとりで考える

10月4日、「東三河くらしと自治を考える集会2009」が開催されました。今、東三河では、2000年4月には、4市11町4村あつた自治体が、現在5市3町1村となり、来年2月には小坂井町が豊川市に編入されようとしています。さらに、東三河の各首長は広域合併(静岡県湖西市を含む)を検討しています。また、消防の広域化や地

域医療圏構想なども検討されています。問題なのはこの間の合併が検証もされず、地域住民にとって何をもちたしているのか明らかになっていません。さらに、東三河地域は約1720平方kmと愛知県の33%、大阪府や香川県に匹敵する面積を持ち、日本でも有数の農業地帯から県内一の過疎・高齢化地域を含んで、多くの課題を持ち、設楽ダム問題もかかっています。

こうした中、東三河の現状を住民とともに考える機会をつくること、豊橋市職労と東三河くらしと自治研究所が中心となり、東三地区協各単組や東三河労連、民商、新婦人、農民連、生協、NPF法人などが参加して、実行委員会を作り、「東三河の広域合併と道州制導入について」をメインテーマに開催されたものです。分科会も地域医療、

子育て、雇用、農業、道州問題の6つが設けられ、報告と交流がおこなわれました。自治体学校の地域版としてもとりこまれた集会には、当初目標を上回る151人の参加があり、用意した資料が足りなくなる嬉しい悲鳴をあげる状態となりました。参加者からは、「生産者が安全・安心な農作物づくりに細心の注意をはらっていることがよくわかった。農業問題は、人類の生命に直結している問題だと深く考えた」大企業の派遣切りで多くの

人が職を失なう一方で、中小企業は募集をかけてもなかなか人が集まらない。厳しい現状を国と自治体の責任で良くしていく、「東三河地域で、安心して子どもを産み育てる環境に改善していきたい」、「合併をした報告を聞き、住民サービスの低下について目立つ点が多く、自分とこの問題をより身近なこととして考えた」などの感想が寄せられ、とりこみの継続を求める声も上がりました。

東三河、くらしと自治を考える集会

くらし守れ、人員ふやせ

職場から総対話・総要求運動



「史上最悪のマイナス人勸をはね返そう」といふ、各単組で、秋季年末闘争の総学習が行われています。組合員一人ひとりが参加する総対話・総要求運動としてとりこまれていきます。

一人ひとりの要求を持ちより職場改善をしよう

長久手

長久手町職労は10月5日から、秋季闘争職場オルグを開催しています。執行委員から、「09人事院勧告は大幅なマイナス勧告となり、住居手当も持ち家の廃止など、到底納得できるものではない。この人勸は、国の総人件費抑制政策そのものだ。地域手当も現行9%から来年度6%にしたいとする提案がされた。この秋のたたかいは、組合員ひとりひとりが要求を出し合い、賃金改善や職場改善をしていこう」と説明がされました。その後、組合員一人ずつ要求を語り、「人員を増やしてほしい。人が足りない

から超勤をしている」「庁舎増設にともない、課の配置が変わるが、住民のかたの待合スペースをきちんと確保して」「地域手当で日進市がズバ抜けているのはなぜ?」「マイナス勧告ばかりで、がっかりしてしまふ。やる気ができるようなものが、勝ち取れるといい」など、さまざまな願いや質問が出され、要求づくりがすすめられています。

総学習でアンケート 職員への厳しい実態が

半田

半田市職では、確定闘争の総学習を9月25日、本庁から始めました。今年的人事院勧告は過去最大規模のマイナスの厳しい状況の中、討議資料と人勸の説明の後で、アンケートを実施。50人が回答しました。要求



では、賃金引上げ(36.5%)、職場の人員増(54.0%)、年休取得(9.5%)が多く出ました。9月のサービス残業では、4時間から10時間22.2%、15時間から30時間(11.1%)と明らかにされ、残業時間は10時間まで(46.7%)、15時間から60時間(46.7%)と厳しい職場の実態が出され、年休取得と夏休みの結果にも

現れました。4月から9月の年休は、0日(20%)、4日まで(60%)、5日から10日(20%)。夏休みは、完全に取れなかった人が26.5%あり、全く取れなかった人(0日)が3人(6.1%)あり、原因は人員不足であることが明らかになっています。1番に獲得したい要求を具体的に記載してもらったところ、賃上げ(9人)、人員増(4人)、人員配置(2人)、現行制度維持、住宅手当の増、成果主義賃金導入反対、臨職の賃上げ、労使合意による労働条件の変更でした。今後、病院支部をはじめ総学習で全組合員と対話を続けながら、確定闘争では要求前進をめざすこととしています。

「言いたい劇場」

小菅りや子



安くて大きな保障 自治労連共済 自動車共済



河村市政半年…減税名目に 福祉予算カット?

市民犠牲許すなと交流集会



「減税名目の福祉削減は許せない!市民犠牲許すな要求交流集会」が、10月2日、金山・労働会館で開催され、市民や団体など133人が参加しました。

河村市政が誕生して半年、危険な側面が前面に出ています。名古屋城の本丸御殿復元を「計画どおり」継続し、推進事業費500億円をかけ天守閣の木造再建や、市立城西病院の廃止・民間譲渡、市立保育園の民営化計画の決定などを表明しています。そして、来年度予算編成で市民税「減税」を名目に、職員の人件費190億円のほか、福祉・子育てをはじめ、めとめる238億円もの予算削減方針が明らかになりました。

各局の削減目標額は、健康福祉局が62・8億円、子ども青年局が41・2億円、福祉と子育て分野だけで100億円

です。市民生活に必要な補助費や助成金をカットすることを検討しています。保育料の値上げや学童保育所も補助が削られ運営が大変になり親の負担増や、国保料の値上げも予想されます。減税あっても負担増になる可能性があります。

会場からは、「国保料が毎年値上げされている、誰でも払える保険料にしてほしい」、「後期高齢者医療制度の廃止、敬老パスの無料化など、お年寄りが安心して暮らせる名古屋に」、「名古屋市の職場は今、人員不足でメンタル・長時間労働が増えている。このままでは市役所が壊れていく。市長はひと肌ぬいでちょーよ」といっているが、裸にされそう。職員も住民も安心して働いて暮らせる市政へ運動をすすめてほしい」と発言が相次ぎました。

市民犠牲許すな連絡会は、この要求を大きな運動にしていこうと、ジャンボ八ガキ運動、市民集会の開催など5つの行動を成功させる決意を固め合いました。

介護保険の改善へ

利用者とともに運動を

介護労働者のつどい



10月4日、福祉保育労・生協労連・自治労連の3労

組による、「介護労働者のつどい」が開催され61名が参加しました。

実行委員会を代表して、豊橋市職労の大田さんが「介護職員処遇改善交付金を使って処遇改善できるよ」う事業所に働きかけよう運動で変えさせた10月からの認定調査が、生活実態を反映できているか見ていく必要がある。来年の大幅見直しに向けて、現場で働く私たち、利用者、その家族などが一緒に声を上げていこう」と訴えました。

講演では、京都女子大学の石田教授が「賃金、ならびに介護労働者をめぐる情勢と課題」と題して、現行の介護報酬は、「利用者の意欲を引き出すことや職場ミートイニングなどは介護の本質なのに報酬に反映され

ていない。これを組み入れさせることが重要」と話しました。

午後からの分科会では、「実技講座 ちよっとした工夫でできること、新しい技術・ノウハウ」や2つのしゃべり場に分かれて、学習・交流しました。

参加者からは、「介護の本質について考えさせられた」、「直行直帰のヘルパーでも、孤独を感じずに、仕事ができる環境をつくりたいと感じた」、「職員の分断化、利用者と事業者の対立の構図という政策誘導に巻き込まれず、介護労働者の団結の必要性を感じた」と感想が寄せられました。

基地機能の強化反対

第13回小牧平和県民集会

「ブルーインパルスは小牧基地にくるな」空中給油輸送機の配備反対」など、小牧基地の機能強化に反対する、第13回小牧平和県民集会が9月27日、春日井市西本町公園で開催され、300人を上回る人が参加しました。藤山尾中労連議長が主催者あいさつで、地元

合併問題で市民アンケート

意見を聞くことと西尾市職

「市民置き去りの合併は反対です」、西尾市職は、神原市長が2011年3月末までに押しすすめようとしている、幡豆郡三町との合併問題で、市民宣伝をとりこんでいます。組合は、そもそも合併しなければならぬ理由が何ら示されておらず、合併後の税収の見込みや具体的な街づくりの姿も示されていないと指摘。首長間の合意に基づく合併が至上命題で、市民への情報提供もきわめて不十分と問題点を明らかにしています。そして組合は、直接市民の意見を聞くために、ピラにアンケートを付けて配布しています。

単定期大会 役員紹介

- | | | | | |
|---------------|-------------|------------|----------|-----------|
| 犬山市職労 9月16日 | 執行委員長 吉田 高弘 | 副委員長 林 達也 | 書記 一柳 佳音 | 副書記 小島 千枝 |
| 武豊町職労 9月30日 | 執行委員長 森田 正樹 | 副委員長 大澤 正 | 書記 伊澤 正美 | 副書記 萩田 芳秀 |
| 幸田町職労 9月30日 | 執行委員長 山本 茂樹 | 副委員長 萩田 芳秀 | 書記 萩田 芳秀 | 副書記 萩田 芳秀 |
| 半田市職 9月29日 | 執行委員長 熊谷 弘 | 副委員長 鈴木 孝雄 | 書記 鈴木 孝雄 | 副書記 鈴木 孝雄 |
| 半田市職 9月29日 | 執行委員長 熊谷 弘 | 副委員長 鈴木 孝雄 | 書記 鈴木 孝雄 | 副書記 鈴木 孝雄 |
| 自治体一般労組 10月3日 | 執行委員長 長坂 圭造 | 副委員長 柳 進 | 書記 柳 進 | 副書記 柳 進 |
| 新城市職労 9月25日 | 執行委員長 中村やよい | 副委員長 中野みさ子 | 書記 浅尾 洋平 | 副書記 栗原めぐみ |
| 新城市職労 9月25日 | 執行委員長 中村やよい | 副委員長 中野みさ子 | 書記 浅尾 洋平 | 副書記 栗原めぐみ |
| 新城市職労 9月25日 | 執行委員長 中村やよい | 副委員長 中野みさ子 | 書記 浅尾 洋平 | 副書記 栗原めぐみ |

自治体に働く 非正規職員の交流会

とき 11月1日(日)午後1:30~4:00まで
ところ 県本部大会議室
学習と職場交流会

第14回あいち 機関紙・宣伝学校

とき 11月1日(日)10:00~17:30
ところ 労働会館本館2F会議室
活動報告と実践講座
問い合わせ・申し込みは組合まで